

# プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.48

2026年1月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



院長挨拶  
年頭挨拶

公開講座

社会課  
「未来を育てる」～若手職員・学生のまなざし～

マイタウン・マイホスピタル  
ミニニュース

お知らせ



# マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～



## 年頭挨拶



那須赤十字病院 院長 井上 晃男

新年あけましておめでとござい  
ます。

地域の皆さまには、日頃より当院の  
医療活動に深いご理解とご支援を賜  
り、厚く御礼申し上げます。

私は2022年の院長就任以来、医  
師の増員や救急医療体制の刷新など、  
医療の質と持続性を高める改革に取り  
組んでまいりました。厳しい医療・経  
営環境の中ではありますが、病床稼働  
率の大幅な向上や収益改善といった成  
果につなげることができたのも、職員  
一人ひとりの努力と地域の皆さまの支え  
があつてこそと感じております。

現在、当院が力を入れている取り組  
みの一つが「自由診療」です。エビデン  
スがあり、安全性を十分に担保できる  
治療については、良心的な料金設定の

もと、積極的に提供していきたいと考  
えています。膝などの痛みに対するP  
DFIFD療法」は、県北地域で先駆  
けとなる最先端治療として注目されて  
います。

また、予防医療の充実も重要なテー  
マです。本年は新たに「心臓ドック」「脳  
ドック」を開始いたします。心臓ドッ  
クでは、血管に特化した最新のCTを  
導入し、冠動脈CT検査をメニューに  
加えました。狭心症の原因となる冠動  
脈の動脈硬化を詳細に評価でき、全国  
的にも例の少ない、充実した内容となっ  
ています。

さらに、AI診断機器の導入にも積  
極的に取り組み、他施設との差別化を  
図るとともに、地域外や都市部、さら  
にはインバウンドの患者さまにも当院  
を知っていただくきっかけづくりを進  
めてまいります。観光地・那須に近い  
立地を生かし、「メディカル・ツーリス  
ム」や「泊ドック」など新たな医療の  
形についても検討を重ねています。

当院が誇る医療として、カテーテル  
による心臓血管治療、くも膜下出血に

対するクリッピング手術、消化器「肝・  
胆・脾」における高難度手術など、国  
内トップクラスの医療を発信してい  
くことも重要な使命です。本年からは、  
消化器の希少がんに対する「放射性医  
薬品（ルタテラ）治療」も新たに開始  
いたします。

県北地域で医療に携わってきた経験  
から、「地域の発展は医療の発展とと  
もに」との思いを強く持っています。「地  
域の医療機関との連携強化」、「地域  
各種イベントに際しての救護班の派遣」、  
「企業訪問を通じた事業者同士の連携  
促進」など、地域全体を支える活動に  
も引き続き力を注いでまいります。

また、無医地区の住民の皆さまを対  
象に、電力センサーを活用して健康状  
態を見守る「ライフスタイルセンシ  
ング」の実証事業を昨年より開始しまし  
た。本年は対象地域をさらに拡大し、  
地域医療のイノベーションに挑戦して  
いきたいと考えています。

本年も「安心・安全で質の高い医  
療」を通じて、地域の皆さまの健康と  
暮らしを支えてまいります。引き続き、  
当院へのご理解とご支援を賜りますよ  
う、よろしくお願ひ申し上げます。



## 「未来を育てる」 ～ 若手職員・学生のまなざし～



救急員養成講習（入職3・4年目のスタッフ）

若い職員たちは柔らかい表情で研修に参加しているように見えます。しかし、その内側にはしっかりとした真剣さがあり、先輩の助言を聞き逃さないよう、静かに集中している雰囲気から「もっと良い支援ができるようになりたい」という気持ちが静かに感じられます。

小さな一歩を丁寧に積み重ねる姿が、未来の力を育てているように感じられます。

### 【サイドコラム】 研修を受講した職員に聞きました。 Q. 印象に残った研修はなんですか



利谷 李空 主事

穂苅 巴美 主事

救急員養成講習（メイン写真）の最後に行われた「総合演習」です。本当に大変でした。講習内容を1対1で実践することは、比較的対応できたものの、複数名の救護を同時に行う演習では、自分の未熟さを痛感しました。これから何度も学び直し、力をつけたいと思います。

「こころのケア」の患者体験です。ケアされる側の気持ちを体験して、何を考え、どんな意思決定をしているか学びました。本当にこのような人たちのこころに寄り添えるか不安でしたが、講義内で解決方法を仲間と学ぶことができました。

### 若手職員の教育や高校生の受入、野外での訓練

#### 仲間と学ぶ、こころのケア研修

災害救護活動の一環としてこころのケアが実施できると同時に、自分自身のセルフケアに関する研修を行っています。



#### 高校生初めてのリハビリ体験

栃木県内のJRC（ジュニアレッドクロス）加盟校の高校生を対象に職場体験実施しました。写真はリハビリで膝の関節可動域を測定中。他の職業も体験していただきました。

#### 先輩から学ぶ野外訓練の基礎

現役救護班の先輩から屋外での救護活動に活かせる技術の指導を受けます。写真は、簡易ベッドの設営方法を指導しています。



キーワード：学び／継承／希望

## 10月 マイタウンまつり

10月5日（日）病院祭「マイタウンまつり」を開催しました。

昨年に引き続きお年寄りから小さなお子さんまで幅広く、約1,400人の方にお越しいただき、整形外科のギプス巻体験などの体験ブースや骨密度チェックなどの医療相談、那須地区消防によるはしご車展示、キッチンカー、演奏会などさまざまなイベントで地域の皆さんと楽しめるイベントとなりました。



## 11月 大田原マラソン

11月23日（日）に行われた大田原マラソンに救護班として当院も参加いたしました。日本赤十字社栃木県支部、さくら医療福祉専門学校の方々と協力し、全国各地約3,000人を超える参加者の方々が競技を安全に楽しめるよう、救護活動にあたりました。



## 12月 昼間防火訓練

12月16日（火）消防法にて年2回実施を義務付けられている昼間防火訓練を行いました。

院内にて火災が発生した想定で行われました。もしもの時に備えて万全の準備を心がけてまいります。



# 那須赤十字病院公開講座

那須赤十字病院は地域の皆さんに寄り添う病院を目指し、その一環としてこれまでも地域の皆さんに向けての講座を行って参りました。

院長の「地域の皆さんにより自身の身体、病気のことを知ってもらおう。」という思いもあり、昨年9月に循環器内科 景山先生、12月には整形外科 竹内先生の講演を行い、どちらもたくさんの地域の方々にご参加いただきました。

2026年も公開講座を行っていく予定でございますので、気になる先生、テーマについての講座にはぜひお越しください。

これからもたくさんのの方々のご参加お待ちしております。

※テーマ等について詳細決まり次第、院内掲示、ホームページ等でお知らせいたします。



# 「バナー広告」「広報誌広告」募集



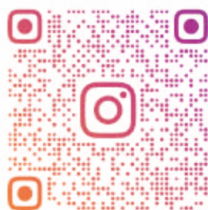
病院ホームページ  
 A枠：15,000円/枠/月  
 B枠：10,000円/枠/月

病院広報誌  
 「プラタなす」  
 20,000円/枠

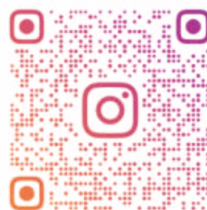
「入院のご案内」  
 「診療費領収書裏面」  
 「職員エリアデジタルサイネージ」  
 今後募集予定

お問い合わせは  
 那須赤十字病院  
 総務課まで

## 公式 SNS 開始のお知らせ



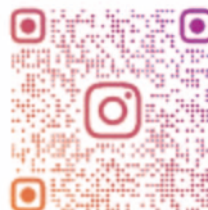
NASUNISSEKI



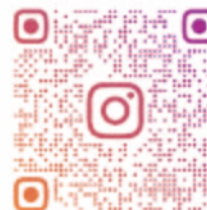
NASU\_JRC\_RESIDENT



Facebook アカウント



NASURCHKANGOBU



NASU\_RCH\_SEIKEI

プラタなすアンケート始めました！  
 今後の広報誌作成に役立てていきたく  
 と思いますので、下記QRコードより  
 ご回答お願いいたします！



## 那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル  
 ～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくりまします。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.48

発行日 2026年1月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <https://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷